

令和7年度 第2回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：令和7年11月26日（水）

○場 所：役場 4F 第3第4委員会室

○出席者：委員及びオブザーバーの計15人、町事務局等31人

○協議内容と主な意見等

- ・第2期総合戦略の評価、第3期幸田町総合戦略（案）について、委員から以下のようなご意見をいただきました。

●第3期幸田町総合戦略（案）について

（1）基本目標1「町ならではの仕事と人材を育て、安心して働けるようにする」

- ・製造品出荷額だけでなく、付加価値などを測る目標を設定した方が良い。
- ・今後、農業用地は減少していくと考えられるため、生産性の向上を測る KPI を設定すると良い。
- ・人材育成事業と設定されている KPI の関連性が分かりにくい。

（2）基本目標2「多様な人の流れを育て、町の魅力を高める」

- ・第2期で基本目標2に関する KPI が全て未達成となっているため、この状況をどう打開して、目標を達成していくかを考える必要がある。
- ・インバウンドに関する内容がないため、検討した方が良い。
- ・交流人口・関係人口の創出・拡大に関する KPI が道の駅の来場者数のみだが、総合戦略の中でも重要な項目であるため、他にも設定すると良い。

（3）基本目標3「子どもを育て、みんなを元気にする」

- ・年少人口が基準値より目標値が低く設定されているが、推計値と比較すると目標値の方が高く、減少率を抑制する目標となっているため、それが分かるように記載すると良い。
- ・妊産婦や保護者が抱える課題や悩みは人によって異なるため、子育て支援センターなどで聞き取りを行ってはどうか。
- ・コミュニティ・スクールを全学校で設置したが、運営上は地域の方にコーディネーターとして参加してもらう必要があるため、行政側から参加を働きかけてほしい。

（4）基本目標4「地域の個性を育て、健やかに暮らせるようにする」

- ・温室効果ガス排出量が基準値と目標値で同じ数値となっているため、設定方法を再考した方が良い。
- ・家具転倒防止対策を行った住民の割合を向上させるにあたり、地域コミュニティの形成と取組を連携させるなど、まちづくりに関する他の項目と組み合わせるはどうか。

（5）その他

- ・3Rの解説について、リサイクルでエネルギー回収を行う時代ではないため、内容を再考した方が良い。
- ・計画の進行管理を行う上では、計画の評価結果を次年度の予算検討に反映させた方が良いため、推進委員会の時期なども考慮して PDCA サイクルを回してほしい。

以 上